



消防千葉

2021 No.579 令和2年12月号・令和3年1月号

令和3年1月1日 編集兼発行人

千葉県市原市菊間 783-1 千葉県消防学校内

公益財団法人千葉県消防協会会長 石橋 毅

TEL0436(37)1710

郵便番号 290-0007

ホームページ <http://business4.plala.or.jp/chisyo/>

メールアドレス chisyokai@bz04.plala.or.jp



沖ノ島（館山市）安房支部

年頭のごあいさつ



明けまして
おめでとうございます。



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

県内 33,000 有余名の消防職員、消防団員並びに関係者の皆様におかれましては、日夜、火災や地震・風水害などの各種災害から、地域住民の生命、身体及び財産を守る責務を全うするため、献身的に職務に精励されていますことに、深く敬意と感謝の意を表します。

昨年は、12 年ぶりに日本列島への台風の上陸がなかったものの、令和 2 年 7 月豪雨では、熊本県をはじめ各地で記録的な災害が発生し、多くの消防職員、消防団員が活躍されたことは記憶に新しいところです。

災害が大規模化、多様化しているだけでなく、新型コロナウイルスという新たな脅威がある今、県民すべての願いである「安全で豊かなくらしの実現」のために、消防に対する県民の期待はますます高まっており、消防防災体制の更なる強化が求められています。

このような中、県では、令和元年の房総半島台風をはじめとする一連の災害の経験を踏まえ、迅速に情報収集体制を確立するため、初動における職員配備や災害対策本部の設置基準を見直したほか、早期に市町村へ情報連絡員を派遣するための仕組みを構築し、災害対応力の向上を図ってまいりました。

さらに、避難所における新型コロナウイルス感染症対策をまとめた「避難所運営の手引き」別冊を作成したほか、避難所として活用が可能な県有施設の情報提供を行うなど、市町村を支援しているところです。

今後とも、消防関係の皆様とともに地域防災力の更なる向上を図り、災害に強い千葉県づくりに取り組んでまいりますので、御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

結びに、本県消防のますますの御発展と、皆様の御健勝、御活躍をお祈り申し上げまして、年頭のあいさつといたします。

千葉県知事 森田 健作

年頭のごあいさつ



令和3年の新春を迎え、
謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。



消防職・団員並びに消防関係者の皆様には、常日頃から地域の安全・安心を守るため、地域防災の最前線に立ち、日夜献身的な活動を続けていただいておりますことに、心から敬意と感謝の意を表します。

また、平素から当協会の運営や活動に対して格別の御支援、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、自治体消防は、関係各位の御努力により、各時代の要請に応えながら着実な発展を遂げ、今や地域住民に最も身近な防災機関として、住民から大きな期待と信頼が寄せられております。

本年は東日本大震災から10年目となりますが、その間も全国各地で大規模な自然災害が多発しており、昨年は令和2年7月豪雨が発生し、九州を中心に広範な地域に甚大な被害をもたらしました。また、昨年からの新型コロナウイルス感染症が、消防活動にも大きな影響を与えております。

このような中、当協会としましても、安全・安心な郷土づくりのために、感染症対策に万全を期しつつ、各地の消防団と常備消防が連携、協力し、消防活動がより安全で迅速なものとなりますよう、今後も努力してまいります。

昨年を振り返ってみますと、新型コロナウイルスに翻弄された一年でありました。皆様も、新型コロナウイルス感染症への対応で大変御苦労なされたことと思いますが、当協会でも、千葉県消防操法大会の中止、消防殉職者慰霊祭の開催規模縮小など、行事等に大きな影響が生じました。

また、昨年は、消防庁及び（公財）日本消防協会主催の全国消防操法大会が千葉県消防学校で開催される予定でしたが、中止となりました。その後、改めて本年10月に同校で全国大会の開催が決定され、ひとまず安堵したところです。現時点で新型コロナウイルス感染症の収束を見通すことは困難ですが、大会が予定通り開催される場合には、開催県として皆様の御協力をお願いいたします。

新しい年を迎え、気持ちも新たに千葉県消防発展のため、防火防災思想の普及啓発、消防団員の確保策の検討、消防団の活性化、消防職・団員の福利厚生等の促進等に全力で取り組んでまいりますので、なお一層の御支援、御協力、さらには、御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束と、千葉県消防の益々の御発展、並びに皆様の御健勝と御多幸を心から祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

令和3年元旦

公益財団法人千葉県消防協会会長
千葉県少年婦人防火委員会会長

石橋 毅



明けましておめでとうござ



香 取 支 部

香取広域市町村圏事務組合

香取市消防団長

川口善美

神崎町消防団長

遠藤栄治

香取広域市町村圏事務組合

多古町消防団長

工藤和明

香取広域市町村圏事務組合

東庄町消防団長

岩瀬 隆

海 匝 支 部

銚子市消防団長

芝岸 弘

匝瑳市消防団長

秋山忠史

旭市消防団長

鈴木 格

山 武 支 部

東金市消防団長

植松一夫

山武市消防団長

土屋博文

大網白里市消防団長

中野 修

九十九里町消防団長

古川克俊

芝山町消防団長

萩原貴男

横芝光町消防団長

須合一嘉

長 生 支 部

長生郡市広域市町村圏

組合消防団長

長谷川秀一

夷 隅 支 部

勝浦市消防団長

藤江 勉

いすみ市消防団長

莊司正博

大多喜町消防団長

齋藤信一

御宿町消防団長

井上峰男

安 房 支 部

館山市消防団長

吉野隆志

鴨川市消防団長

佐藤則泰

南房総市消防団長

木村庸一

鋸南町消防団長

大胡昌広

君 津 支 部

木更津市消防団長

地曳貞夫

君津市消防団長

小原幸春

富津市消防団長

石井輝之

袖ヶ浦市消防団長

佐久間貢

千 葉 県

防災危機管理部長

石渡敏温

消防課長

齋藤篤男

消防学校長

山口幸宏

千 葉 県 消 防 協 会 準 会 員

一般社団法人千葉県消防設備協会

鬼怒川ゴム工業株式会社

日本曹達株式会社 千葉工場

株式会社 MORESCO 千葉工場

丸善石油化学株式会社 千葉工場

AGC株式会社 千葉工場

コスモ石油株式会社 千葉製油所

住友化学株式会社 千葉工場

大阪国際石油精製株式会社

三井化学株式会社 市原工場

日立化成株式会社 五井事業所

デンカ株式会社 千葉工場

日本中央競馬会 中山競馬場

流山キックマン株式会社

成田国際空港株式会社

空港運用部門保安警備部

成田山新勝寺

日華化学株式会社 関東工場

三井化学株式会社 茂原分工場

双葉電子工業株式会社

広栄化学工業株式会社 千葉工場

富士石油株式会社 袖ヶ浦製油所

NAASEEフイサポート株式会

(順不同)



います 令和3年元旦

公益財団法人千葉県消防協会

千葉県消防協会評議員

公益財団法人千葉県消防協会
顧問会役員等

県下市町村消防団長

特別顧問	石井利孝
会長	石橋 毅
副会長(消防長会長)	中村由明
同(海匝支部長)	鈴木 格
同(東葛飾支部長)	安達 博
同(山武支部長)	植松一夫
同(夷隅支部長)	莊司正博
理事	河上 茂
同(千葉支部長)	高橋章夫
同(印旛支部長)	関根勇夫
同(香取支部長)	遠藤栄治
同(長生支部長)	長谷川秀一
同(安房支部長)	吉野隆志
同(君津支部長)	石井輝之
同(消防長会)	杉田昭一
同(消防長会)	高橋広一
同(県消防課長)	齋藤篤男
同(県消防学校長)	山口幸宏
専務理事	玉井日出夫
常務理事	山口朝彦
監 事(東葛飾支部)	小倉邦裕
同(香取支部)	岩瀬 隆
同(消防長会)	角田泰紀
同(公認会計士)	草薙信久

千葉支部	小柳勝則
同	佐藤 薫
東葛飾支部	松本禎久
同	大川三敏
印旛支部	伊藤裕之
同	中村教雄
香取支部	本宮弘資
同	工藤和明
海匝支部	佐久間三喜男
同	芝岸 弘
山武支部	中村喜和
同	古川克俊
長生支部	丸 幸夫
同	田邊 茂
夷隅支部	東條 薫
同	齋藤信一
安房支部	佐久間初日
同	佐藤則泰
君津支部	末吉幸夫
同	佐久間貢



相談役	松島 洋
同	三代川利男
同	金子 裕
同	目良和夫
副会長	吉野正壽
同	内藤 肇
同	石井友治
同	石渡幸雄
同	五木田祥一
同	飯高健次
同	畔蒜晴夫
同	廣田元一
同	伊澤寿男
監 事	

千葉支部	佐藤 薫
千葉市消防団長	池田 博
習志野市消防団長	大野藤夫
市原市消防団長	高橋章夫
八千代市消防団長	
東葛飾支部	安達 博
市川市消防団長	飯島秀人
船橋市消防団長	小嶋 功
松戸市消防団長	染谷賢一
野田市消防団長	鈴木 哲
柏市消防団長	小倉邦裕
流山市消防団長	吉田喜一郎
我孫子市消防団長	川上英明
鎌ヶ谷市消防団長	大川三敏
浦安市消防団長	
印旛支部	湯浅雅明
成田市消防団長	齋藤達弥
佐倉市消防団長	塚本正英
四街道市消防団長	成岡利明
八街市消防団長	宮本 浩
印西市消防団長	中村教雄
白井市消防団長	秋葉政則
富里市消防団長	関根勇夫
酒々井町消防団長	根本貴博
栄町消防団長	

令和2年度 消防功労者等の決定

消防業務または消防行政などに功労のあったもの及び消防の永年勤続者に対して、(公財)日本消防協会と(公財)千葉県消防協会から表彰する消防功労者等がこのたび決定しました。令和2年度は、1,467人が受章されます。

- (1) (公財)日本消防協会長表彰 令和3年3月5日(金)
日本消防会館 ニッショーホール
- (2) (公財)千葉県消防協会長表彰 令和3年3月1日(月)
青葉の森公園芸術文化ホール

支部別消防功労者等一覧

令和2年11月30日現在

	千葉	東葛飾	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津	協会	合計
日本消防協会長	42	126	53	9	14	24	10	13	11	22		324
特別功労章												0
特別表彰まとい												0
表彰旗												0
竿頭綬												0
功績章(一般)	4	7	6	2	2	3	2	2	2	3		33
功績章(女性)		1										1
精績章(一般)	10	16	13	6	5	8	4	5	6	7		80
精績章(女性)	1	1										2
勤続章	27	101	34	1	7	13	4	6	3	12		208
優良女性消防隊												
優良女性消防隊員												
永年勤続職員表彰												
千葉県消防協会長	159	293	220	46	65	110	74	41	64	71		1,143
出初式	64	98	81	35	33	46	24	29	34	41		485
功労章	16	24	21	9	8	11	6	7	8	10		120
精勤章	48	74	60	26	25	35	18	22	26	31		365
千葉県消防大会	95	195	139	11	32	64	50	12	30	30		658
特別功労章	1	2	0	0	1	1	1	0	1	1		8
永年勤続功労章	50	102	75	5	16	32	25	6	14	16		341
功績章	4	7	6	2	2	3	2	2	2	3		33
表彰	個人											0
	団体											0
感謝状	ア(配偶)	40	84	58	4	13	28	22	4	13	10	276
	イ											0
合計	201	419	273	55	79	134	84	54	75	93		1,467

第41回九都県市合同防災訓練(千葉県会場)

大規模な地震災害を想定し、県や市、各防災機関が連携した救出救助訓練、更には、自助・共助・公助の相互の繋がりを強化し、地域防災力の向上を目的とした災害への備えや発災時の心得などを実施しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症蔓延の状況にかんがみ、市民、県民の健康を最優先とし、訓練内容を見直し、規模を縮小し実施しました。

訓練概要

1 実施日時・場所

令和2年10月27日(火)

多数遺体取扱訓練：福田体育館、福田公民館

令和2年10月31日(土)・11月1日(日)

物資輸送訓練：千葉県庁防災危機管理センター、野田市役所、葛南地域防災備蓄倉庫、
西部防災センター防災備蓄倉庫、野田市文化会館

令和2年11月1日(日)

災害ボランティアセンター設置運営訓練：野田市総合福祉会館

2 主 催

千葉県、野田市、公益財団法人千葉県消防協会

3 訓練規模(全日程)

参加機関：16機関

総参加人数：延186人

4 訓練想定

野田隆起帯を震源とするM7.0の大地震が発生し、野田市では震度6強を観測するとともに、強い揺れによる建物倒壊や液状化による道路損壊等が多数発生、上下水道を含むライフライン機能も麻痺している。

この地震による被災家屋は約2万棟、被災者は約3万7000人に及び、避難所での生活を余儀なくされる。

5 今回の訓練の特徴

新型コロナウイルス感染症蔓延の状況に鑑み、主会場の訓練等の実施を見送ったが、関係機関のみで実施できる訓練については、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで訓練を実施したほか、令和元年房総半島台風等の災害での検証結果を踏まえ、物資輸送の図上訓練を含む、運営訓練を実施した。

《実施した訓練項目》

(1) 多数遺体取扱訓練

ア 遺体安置所の設営及び適切な対応に関する講義の実施

イ 遺体安置所、検視・検案所設置訓練及び遺族対応訓練の実施

(2) 物資輸送訓練

ア 千葉県からのプッシュ型支援実施訓練(図上訓練)

イ 被災地からの要請に基づくプル型支援実施訓練(図上訓練)

ウ 被災地からの要請に基づき、県防災備蓄倉庫から支援物資の払出及び被災地における受入れ訓練の実施(実動訓練)

エ 九都県市からの支援物資受入れ訓練の実施(実動訓練)

(3) 災害ボランティアセンター設置運営訓練

ア 被災地ボランティアセンターの設置及び、ボランティアの受け入れ対応訓練の実施

イ 千葉県災害ボランティアセンターとの情報伝達訓練の実施

(コロナ禍における対応を想定し、オンラインツールを利用した訓練)

6 訓練の状況

【多数遺体取扱訓練】 10/27



遺体安置所設置訓練



遺体検案所設置訓練



遺族受付 (ロールプレイング)



遺体確認 (ロールプレイング)

【物資輸送訓練】 10/31、11/1



千葉県災害対策本部



西部防災センター防災備蓄倉庫



九都県市からの支援物資



受入れた支援物資の避難所への配送

【災害ボランティアセンター設置運営訓練】 11/1



県災害ボランティアセンターとの情報伝達訓練



ボランティアの受付

第56回市町村消防長・消防団長会議の開催

第56回市町村消防長・消防団長会議が市原市の市原市市民会館大ホール（固定席1527席）で、県下各市町村から消防（局）長と消防団長等の出席により11月12日（木）に開催されました。

会議に先立ち、防災功労者内閣総理大臣表彰の披露（7消防団）、昨年の消防長・団長会議以降、新しく就任されました消防（局）長・消防団長23名の紹介を行いました。

鈴木消防協会副会長の開会の言葉で始まり、石橋千葉県消防協会長の挨拶、石渡防災危機管理部長及び日本消防協会長（代理銀川日消業務部長）の来賓祝辞の後、齋藤消防課長及び山口消防学校長の来賓紹介並びに千葉県消防協会の役員の中村、鈴木、安達、植松、荘司副会長の紹介を行いました。



挨拶する石橋会長



石渡防災危機管理部長の祝辞



銀川日本消防協会業務部長の祝辞

会議は、石橋協会長の議長により議事進行がなされ、最初に、齋藤消防課長による防災危機管理部の各課の説明が行われました。その後、山口消防学校長による消防学校の説明に続き、銀川日本消防協会業務部長から各共済事業等の説明がなされ、最後に、玉井専務から千葉県消防協会の業務概要の説明がなされ、議事は無事終了しました。



齋藤消防課長の説明



山口消防学校長の説明

休憩後、埼玉県入間市消防団前団長内村良一氏による「先進的な訓練事例と消防団活動」と題する講演が行われました。

内村良一講師は、昭和59年4月、埼玉県入間市消防団に入団され、平成12年から入間市消防団の副団長、平成18年からは消防団長として、平成30年3月に退団されるまでご活躍されました。

入間市消防団は、いろいろな先進的な取り組みをされており、内村先生が団長を務められていた平成25年2月には、これまでの活動実績が評価され、消防団の最高の栄誉である、日本消防協会特別表彰「まとい」を受賞されています。

また、内村先生は、入間市の消防団のみならず、埼玉県消防協会の役員や日本消防協会の評議員などの要職も務められております。

講演では、消防団の先進的な事例として「東日本大震災」の災害復興の為、入間市消防団の主催による日帰りがれき撤去作業の活動報告、「火消し」から「災害救助」の消防団と変貌するため、分団に「災害救助に有効活用できる多機能型消防車の早期の配置」の実現、救助資機材の熟練度に変差があるチェーンソー、エンジンカッター、油圧コンピツールの安全管理を審査する「救助資機材技能検定」の実施等を説明され、大変興味深く貴重なものとなりました。



玉井専務理事の説明



入間市消防団元団長 内村良一講師



東 西 南 北

消防協力者表彰を実施 千葉県消防局

千葉県美浜消防署では令和2年8月23日、救命活動にご協力頂いた2名の方に敬意と感謝の意を表し、署長から感謝状の伝達と記念品の贈呈を行いました。

本件は、令和2年7月12日(日)千葉県美浜区にある「JFA 夢フィールド」で、サッカーの試合中に心肺停止状態になった男性に対し、施設関係者と大会役員が迅速な119番通報や胸骨圧迫、AEDによる除細動等の救命活動を行った結果、救急隊到着前に男性の意識が回復し、社会復帰に寄与した事案であり、協力者の2名が以前に救命講習を受講していたため、講習で身に着けた知識・技術を発揮し、連携して適切な救命活動を実施できたことが功を奏し、男性の尊い命が救われました。



野田市水難救助隊の発隊式 野田市消防本部

野田市消防本部では、令和2年8月3日、「野田市水難救助隊」を発足し、8月11日に発隊式を挙行了しました。

近年、全国各地では異常気象をもたらす短時間集中豪雨による河川の越水や内水はん濫が発生しており、当市も管轄区域の三方を河川に囲まれている特性から、水害への備えはもとより、潜水業務を伴う水難救助事案への対応が急がれておりました。これまでは、特別救助隊員の中から水難救助員を指定し潜水業務を行っておりましたが、今回、正式に水難救助隊を発隊したことで、水難事故への対応力が大きく進展するとともに、本部全体の士気向上にもつながりました。

特に、河川における潜水作業は、複雑な流れや視界不良などの活動困難を伴うことから、今後も訓練を重ねることで水難事故への対応力向上に努めてまいります。



遠距離送水車の習熟訓練 千葉県消防局

千葉県消防局若葉消防署に県内初の遠距離送水車が配置され6月1日運用開始となりました。この車両は千葉県広域消防相互応援さらには緊急消防援助隊に登録され水利不便地での長距離送水体制及び大規模浸水被害時の排水体制を一挙に確立することが可能な車両です。この新車両を円滑、効率的に運用するため8月3、4日に習熟訓練を行いました。

訓練では、放水・排水作業時の能力を把握することからはじめ、電磁流量計を使用しての実行流量及び車両性能の確認に重点を置き行い訓練成果は得たものと思慮されます。今後も大規模災害、自然災害に迅速、的確に対応するため継続的に訓練に取り組んでまいります。



『感染防止対策研修会』を開催

東 西 南 北 旭市消防本部

旭市消防本部では、コロナ禍にあつて第二波といわれている今だからこそ、職員一人ひとりが感染管理の徹底を再確認することを目的として、令和2年8月27日(木)、(地独)国保旭中央病院 感染管理特定認定看護師 佐々木優子氏を招聘し「消防における感染対策」をテーマに感染症についてや標準予防策、個人防護具の安全な脱着等について講演をしていただきました。研修会は、ソーシャルディスタンス保持の観点から、大空間の確保ができる公民館ホールを借用し開催しました。

研修の目的である感染管理の徹底の再確認だけでなく、出口の見えないコロナ禍の中、消防活動していくうえでの不安等を払拭する有意義な研修会となりました。

今後、定期的に研修会等を実施し職員の知識及び技術の向上を図りたいと思います。



消防音楽隊「ファミリーコンサート」を開催

東 西 南 北 千葉市消防局

令和2年8月26日に消防音楽隊「ファミリーコンサート」を開催しました。

開催にあたり、募集人数を通常の300人から100人に変更し、来場者には「マスクの着用」「手指消毒の徹底」をするなど、感染対策を徹底的に行いました。

来場した方々から、「久々の生演奏を聴くことができ、とても感謝しています。」などのコメントを頂くことができました。

今後も、感染対策を行いつつ、来場した皆様に安心して楽しんで頂けるよう、これからもコンサートを開催していきます。



オンライン会議ツールを使用した研修会を実施

東 西 南 北 千葉市消防局

千葉市消防局では、8月25日にCBRNE 災害対処研修会を、千葉県内の18消防本部とともに開催しました。量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所に専門講師をお願いし、CBRNE 災害のそれぞれの特性を学びました。

オンライン環境での開催は初めての試みであり、事前の接続テスト等で戸惑う部分はありませんでしたが、多くの方が受講することができたため、非常に有意義な研修となりました。

今回見つかった改善点を踏まえて、次回はより質の高い研修会を開催し、千葉県全体でCBRNE 災害への対応能力を高めていきます。



東 西 南 北 服務倫理(ハラスメント防止関係)研修を実施 千葉市消防局

千葉市消防局では、9月1日～3日、ハラスメントのない働きやすい職場環境づくりの一つとして、マネジメント層(係長級以上)の職員を対象にハラスメント防止に関する研修を実施しました。

講師には、職場の労働問題に豊富な知見を有する弁護士の近藤氏と、認知科学の専門家である菊池氏のお二人をお招きし、「ハラスメントが起こらない“人が育つ指導”」について、ご講義をいただきました。

ハラスメントを起こさないための知識や効果的な指導方法について、具体的な事例を踏まえながらの説明をいただき、知識だけではなく、どのように行動すべきかについて、多くの気づきから学びへとつながる研修となりました。

今後も職員に対する教育研修を実施し、組織力の向上と人材育成に努めてまいります。



東 西 南 北 高度救助集合訓練(土砂災害対応訓練)を実施 松戸市消防局

松戸市消防局では、令和2年7月から9月にかけて各月2回、松戸市消防訓練センターにおいて高度救助集合訓練を実施しました。今年度は土砂災害をテーマとし、7月は令和元年度救助技術の高度化等検討会報告書を基に基礎知識の教養、8月は各手技の習得及び検証、9月には実災害を想定した総合訓練を実施しました。

今回の訓練では、応急土留めやピケットアンカーの作成などに農工製品等を活用し、今後の活動の発展に繋げるための検証等も実施しました。

今後も近年全国的に頻発している土砂災害に、より迅速かつ効率的に対応できるよう継続して訓練を実施していきます。



東 西 南 北 風水害対応訓練を実施 千葉市消防局

令和2年9月7日(月)、8日(火)に市内の稲毛海浜公園プールを利用して消防隊による風水害対応訓練を実施しました。

昨年の台風や豪雨災害を教訓に新たに組立てボート、胴付き長靴を配備したことから造波プールや流れるプールの特性を活かして資器材の検証、技術の習得を図ることができました。

今後も風水害への対応強化のため訓練を進めてまいります。





通勤ラッシュを想定！乗用車が多数の歩行者を巻き込み建物へ衝突炎上！ ～集団災害における対応力の強化!!～

船橋市東消防署

船橋市東消防署では、令和2年9月16日から令和2年9月18日までの3日間、延べ162名の隊員が参加した集団災害対応訓練を実施しました。

人通りの多い駅前道路の歩道に乗用車が乗り上げ、大勢の人を巻き込み建物に衝突した事故を想定し、各資機材を使用した実践的な訓練を行いました。

多数傷病者が発生した場合は、安全・確実に活動し、負傷者等を迅速に医療機関に搬送するため、各隊の連携やトリアージ技法が不可欠であることから、現場指揮本部の円滑な運用や、支援部隊による応急救護所の設定などの訓練を行い、集団災害における対応力の強化を図りました。



日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

令和3年1月

4日 仕事始め

5日～2月7日 令和3年出初式



2020年度 全国統一防火標語

「その火事を 防ぐあなたに 金メダル」

<表紙の説明>

沖ノ島（館山市）安房支部

沖ノ島は館山湾の南端に位置している周囲1km程度の小さな島です。南房総国定公園の一つで、北限域のサンゴの生息地でもあり、アマモなどの藻場が形成され、色鮮やかな小魚が住む豊かな生態系を有しています。

以前は500m沖合いにあった島ですが、関東大震災による地盤隆起で現在は陸続きになっており、歩いて行ける無人島として毎年多くの観光客が来場しています。

令和元年房総半島台風で甚大な被害を受け、倒木等により一時入島が禁止されるなど、島の自然は大きく損なわれ、本来の姿に戻るまで50年は掛かると言われています。

そうした中、館山市消防団による度重なる復旧活動により、倒木が撤去され、園路が復旧し、現在は入島が可能となっています。

